

高齢者と障害者の自立のための

第43回国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2016

会 期：2016（平成28）年10月12日（水）～14日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：527社・団体（日本457社・団体、海外70社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時

入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

第42回目を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2016 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、福祉・介護・リハビリなどに役立つ最新情報を以下のようなシンポジウムやセミナー、特別企画などの多彩なイベントをつうじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて来場者登録の受付を開始しました！**

②国際シンポジウムを開催（10月13日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

テーマ：介護サービス従事者をいかに確保するか？

～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題とその対策を考える

③H.C.R.セミナーを開催（10月12～14日） **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画 **本紙にて詳細をご紹介します！**

- (1) アルテク講座 2016～身の回りにおけるテクノロジー（アルテク）で創る豊かで楽しい生活
- (2) 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー ～ マイサイズ！あなたに合わせたモノ展
- (3) 障害児のための「子ども広場」
- (4) 福祉機器開発最前線
- (5) ふくしの相談コーナー
- (6) 被災地応援コーナー

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

H.C.R.特別企画～ ご案内の最新情報

I H.C.R.特別企画

展示会との併催でホール内の「特設会場」において行う各種特別企画も、さらに内容の充実をはかり、以下の日程・内容にて実施いたします。

○開催日：2016年10月12日(水)～14日(金) (※期間中3日間をとおして設営)

○会場：東京ビッグサイト／東6ホール入口 (特設会場B)、東6ホール内 (特設会場A)、東3ホール内 (特設会場C、D)、東1ホール内 (小間番号：1-07-05)

| 時間 | テーマ | 対象者 | セミナー、デモの有無 | 会場 |
|-------------|--|-------------------|------------|-------------------------|
| 10:00～17:00 | 【プログラムNo10】アルテク講座 2016～身の回りにおけるテクノロジー (アルテク) で創る豊かで楽しい生活 | 一般、福祉サービス利用者・家族向け | セミナー | 特設会場 B (東6ホール入口・会議室) |
| | 【プログラムNo11】高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー～マイサイズ!あなたに合わせたモノ展 | | | 特設会場 A (東6ホール内) |
| | 【プログラムNo12】障害児のための「子ども広場」 | | | 特設会場 C (東3ホール内) |
| | 【プログラムNo13】福祉機器開発最前線 | | デモ | |
| | 【プログラムNo14】ふくしの相談コーナー | | | 特設会場 D (東3ホール入口) |
| | 【プログラムNo15】被災地応援コーナー | | | 東1ホール [小間番号：1-07-05] |

※会場は変更となる場合があります。

※「セミナー」「デモ」の印の企画の詳細なプログラムについては、次頁以降をご確認ください。

特設会場 B (東6ホール内、ガレリア入口横)

【プログラムNo10】アルテク講座 2016 ～身の回りにおけるテクノロジー (アルテク) で創る

豊かで楽しい生活 手話通訳あり

多くの人の身の回りにおけるテクノロジー (アルテク) を用いる事で、障害のある人の生活が大きく変わります。たとえば、印刷物を読めない人でも電子書籍や電子新聞であれば簡単に読む事ができます。音声が使えないためにコミュニケーションに不自由を抱える人もスマートフォンでチャットを楽しみ、アプリを入れれば音声で会話することも可能です。そのほか、鉛筆を持っていないなどの理由でメモをとれない人はICレコーダやデジタルカメラを上手く活用すれば記録がとれるなど可能性は大きく広がっています。

このセミナーでは誰もが日常活用しているスマートフォン、タブレット、パソコン、ICレコーダ、デジタルカメラなどのICT (情報通信技術) 製品を、障害のある人の生活や学習支援に活かすアイデアとともに紹介します。

| | | | | | |
|------------|--|--|--|--|--|
| 12日 (水) | | 12:00~13:00 Windows パソコンのアクセシビリティと応用 ーアルテクを用いた障害のある人の生活支援ー 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) | | 14:00~15:00 スマホやタブレットのアクセシビリティ ー肢体不自由の人がスマホやタブレットを使いこなすー 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) | 15:30 - 16:30 アルテクを読み書きなどの学びのツールに変える ーアルテクを用いた発達障害や認知障害のある人の生活支援ー 平林 ルミ 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) |
| 13日 (木) | 10:30~11:30 身の回りにあるテクノロジー (アルテク) が支援技術に変わる ー高齢者や障害のある人の生活支援ー 巖淵 守 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) | | 13:00~14:00 障害者差別解消法とアルテクの意味 ー合理的配慮の1つとしてのアルテク利用ー 近藤 武夫 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) | | 15:00~16:00 障害者雇用とアルテク ー障害者雇用現場でのアルテク活用の実際ー 近藤 武夫 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) |
| 日 (金) | | 12:00~13:00 スマホやタブレットを生活支援ツールに変える ーアルテクを用いた肢体不自由のある人の支援のポイントー 渡辺 崇史 氏 (日本福祉大学) | | 14:00~15:00 視覚障害のある人のスマホ・タブレット活用 ーアルテクを用いた視覚障害のある人の生活支援ー 三宅 琢 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) | 15:30~16:30 アルテクを利用した重度肢体不自由や重複障害のある人の生活・コミュニケーション支援 武長 龍樹 氏 (東京大学先端科学技術研究センター) |

※自由参加、定員 90 名、先着順にご案内いたします。

特設会場 A (東 6 ホール内)

【プログラム№11】 高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー

～マイサイズ！あなたに合わせたモノ展

福祉機器には、高齢者や障害のある人の生活を支援するためにさまざまな工夫があります。その一つが、「高さ」、「太さ」、「大きさ」、「明るさ」、「重さ」などを「使う人に合わせる」という工夫です。

2016 年 4 月に施行された「障害者差別解消法」では、「合理的配慮」をしなければ、それは差別になります。合理的配慮、すなわち「個別配慮」には、「使う人、つまり、あなたに機器を合わせる」といったことが

含まれてきます。

今回このコーナーでは「あなたに合わせたモノ」を、それぞれ衣食住に分類して製品を、展示しています。

- 衣・・・(調節できる靴、フリーサイズのズボン、パジャマなど)
- 食・・・(自分の手に合わせられるスプーン・フォーク、大きさの異なる器など)
- 住・・・(高さ調節ができるテーブルや椅子、高さの調節ができる杖、手すりなど)

ぜひ、このコーナーにお立ち寄りいただき、さまざまな「あなたに合わせた“マイサイズ”」のモノを試してみてください。きっと「なんて楽だ!」、「なんて、使いやすい!」と、感じられると思います。

【企画・監修】公益財団法人 共用品推進機構

特設会場 C (東3ホール内)

【プログラム№12】障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長と生活において大きな可能性を拓けるものです。そこで、子ども向け福祉機器の開発・普及を目的に「子ども広場」を会場内に設置して子ども向けの福祉機器を総合展示するとともに、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーのほか、昨年に続いての企画「現在も未来も大切です!子どもの住まい(肢体不自由・発達障害)相談コーナー」は、医療的ケアが必要な子どもの住まいの工夫まで解説の領域を広げて開催します。

I 福祉機器展示コーナー

終日展示。下記が展示製品の説明時間となります。

| | ～12:00 | ～14:30 | ～16:00 |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 月 12 日 (水) | ○いす・カーシート ○食事用具・食器/衣類・靴 | ○学習機器/コミュニケーション機器 | ○車いす ○バギー・歩行器など |
| 10月 13 日 (木) | ○車いす ○バギー・歩行器など | ○いす・カーシート ○食事用具・食器/衣類・靴 | ○学習機器/コミュニケーション機器 |
| 月 14 日 (金) | ○学習機器/コミュニケーション機器 | ○車いす ○バギー・歩行器など | ○いす・カーシート ○食事用具・食器/衣類・靴 |

II 相談コーナー

下記時間帯に、子ども向けの「機器」「療育」などの各種相談ができます。

| | | | |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 10月 12 日 (水) ～14 日 (金) | 11:00～12:00 | 13:00～14:30 | 15:00～16:00 |
|------------------------|-------------|-------------|-------------|

※福祉機器相談、療育相談について、それぞれ担当者が配置されます。

III 現在も未来も大切です!子どもの住まい(肢体不自由・発達障害)相談コーナー

このコーナーでは、子どもの住宅改造事例をパネルで紹介し、リハビリテーションセンターの建築士等が相談に応じます。子どもの身体機能や行動特性、家族のライフスタイルの変化をよく考えて設計された住宅は、将来にわたって安全で快適な暮らしの実現につながります。

【肢体不自由編】段差解消機やいす式階段昇降機、リフトなど、住宅の中で使われる福祉機器は、高齢の方や身体障害のある大人が使うものだと思いませんか？このような福祉機器は子どもにとってもたいへん有効です。

【知的障害・発達障害編】子どもの行動からくる問題の中には住宅を工夫することで大きく改善されることもあります。住宅の工夫が家庭内のルールやコミュニケーションを構築するきっかけになる場合もあります。まずは子どもの安全対策から取り組み、親のストレスの軽減や子どもの社会的な行動の促進へとつなげられる住宅を考えましょう。

<日程>10月12日(水)～14日(金)の各日14:00～16:30に専門職が相談に応じます。

※新作パンフレット「医療的ケアが必要な子どもの住まいの工夫」を配布する予定です。

【Ⅰ～Ⅲへの協力】横浜市総合リハビリテーションセンター

Ⅳ ひとやすみコーナー

保育士が常駐しています。広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者(親)のみなさんと子育てについてお話ししましょう。

【Ⅳへの協力】東京都社協保育士会

【プログラム№13】福祉機器開発最前線 (デモンストレーションに手話通訳あり)

企業・研究機関の研究開発、試作状況などの情報提供や紹介の場として、最新の機器や製品の展示及びデモンストレーションを行います。

今回は、経済産業省のロボット介護機器開発・導入促進事業や厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業の対象製品を含む合計10点の展示及びデモンストレーションを予定しています。

なお、具体的な展示製品などについては、今後のプレスリリースでお伝えいたします。

特設会場 D (東3ホール入口)

【プログラム№14】ふくしの相談コーナー

技師、作業療法士などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じます。

【運営協力】日本作業療法士協会、大阪府肢体不自由者協会 大肢協ボランティアグループ自助具の部屋

東1ホール内/小間番号:1-07-05

【プログラム№15】被災地応援コーナー

災害に見舞われ、復興に取り組みながら製造・生産活動に取り組むセルブ(障害者就労支援施設)の製品を販売いたします。

注1) 題名の横に「手話通訳あり」マークのついたプログラムは、手話通訳を行います。

注2) 各プログラム名の後の【 】内の数字は、プログラムNo.です。会場内でプログラムについてお尋ねの際などには、No.の数字をお申し出ください。

アクセス/ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

- A ゆりかもめ 国際展示場正門駅下車 3分
- B りんかい線 国際展示場駅下車 7分
- C 路線バス 東京ビッグサイト下車すぐ

H.C.R.2016 新製品の紹介/福祉機器ガイドブックより

朝日産業(株) Mr. ユリナー 簡単脱着 携行式収尿器【トイレ・おむつ用品】

～頻尿・尿失禁でお悩みの生活を劇的に変革させる収尿器～

トイレの心配が解消！

本来の活動的なライフスタイルを取り戻し、積極的な外出・スポーツをサポートする極めて快適な収尿器です。

おむつや紙パンツの考えとは全く異なる衣服着用型で圧迫感が全くないことから装着時の違和感はほとんど感じません。実際に尿漏れに悩んだ方が考案、開発した新商品。

(株)アマノ マリンコートリモ【入浴用品】

価格：お問い合わせください

～セレクト機能とコミュニケーション機能を強化した寝台浴槽～

＜主な特徴＞●選べる薬液タイプとろ過タイプ。 ●配管洗浄プログラムを搭載（ろ過タイプ）。 ●音声と文字で、40種類以上のメッセージを発信。 ●Wアクション機構により介助しやすいフチ高さを実現。 ●1台でストレッチャーと車いすの両方に対応可能。

(株)エーアイジェイ 歩行車 ストリーム マルーン【移動機器】

価格：48,000円〔非課税〕

～「愛乗ストリーム」の後継車 よりおしゃれなデザインに～

「美しい曲線美」を表すストリームラインを、フレーム・バッグの形状で表現。フレームカラーはエクルベージュ、バッグはマルーン色とフェミニン仕上げ。ブレーキワイヤーをフレーム内に格納、折りたたみに便利なロック機能、ハンドルの高さ調節もワンタッチ。使い勝手が良く、スマートにご利用いただけます。

HHJ(株) 軽量電動車いす WH-E200-3 Breeze2【移動機器】

価格：335,000円～〔非課税〕

～軽く、折りたためる車いす。持運びがますます楽になりました！～

ウィルホーム・ブリーズは、スタイリッシュでパワフルな電動車いすです。

長距離ドライブ用にLi-ionバッテリーを装備し、コンパクトなサイズなのでスイスイとお出掛けでき、活動範囲を広げます！前輪・後輪ともにノーパンクタイヤを採用しています。

AMY ドアテック(株) 介護・医療施設用半自動開閉装置 AMY1200/1000RC【福祉施設環境設備・用品】

価格：オープン価格

～自動ドア業界No.1の安全開閉を追求した半自動開閉装置新発売～

自動ドア業界No.1の安全開閉を追求した半自動開閉装置「AMY1200/1000RC」。現状の吊引戸を自動ドアに！

安全/安心・転倒/事故防止 安眠/快眠 静音設計。自由な出入りで、利用者の残存機能保持。

停電時は、普通のドアに！普及も自然復旧。引戸は自動閉鎖しますので覗かれません（プライバシー）。

(有)ウインド おたべやす【福祉施設環境設備・用品】 **価格：2,700円**

～動く3つのパーツで、拘縮、変形した手でも食べやすい形に～

中央のネジを緩めることで、スプーンとグリップの角度が変えられます。また、上下2枚になったグリップを開いて拘縮、変形した手にも合わせられます。指が動かなくてもグリップを手の中にはめ込み、自由自在に角度を変えて様々な持ち方を試し、食べやすい形でネジを締めて使います。もうベルトでスプーンを固定する必要はありません。

(株)小笠原 コンフォートバス<<介護仕様>>【建築・住宅設備】 **価格：お問い合わせください**

～極小空間で最大限の開口を確保しました～

特注仕様の折り窓により大きな有効開口を確保し、リフトを設置した場合の移動もスムーズに行えます。浴槽の高さと合わせて移乗台を設置して、浴槽からの出入りも可能です。

(株)岡田製作所 楽々きれっと第5号機【トイレ・おむつ用品】 **価格：未定**

～ロボットがお尻を拭く?! 自動で拭けるポータブルトイレ誕生!～

「楽々きれっと」とは、ポータブルトイレに組み込まれた、世界で初めての排泄支援ロボットです。ロボットアームが臀部に残った水分を自動で拭き取るので、介護者に臀部を拭かれる抵抗感や不快感を払拭し、遠慮や我慢をせずに自由に排泄できます。また、衛生的で感染防止になります。

斉藤工業(株) 介護用おむつBOX トルナーレ【トイレ・おむつ用品】 **価格：7,344円**

～スムーズに手早くオムツ交換ができる～

オムツ交換に必要な介護用品をスッキリとコンパクトに収納できます。本部BOXには取り出しやすいようにオムツ、手袋、おしりふきを収納。引出BOXには汚れたものを包んで捨てるための折った新聞紙、ごみ袋を収納します。トレイには本部、引出BOXからオムツ・手袋・おしりふき等必要な物を乗せて、必要な所に移動できます。

住友理工(株) 胸骨圧迫訓練評価用センサ しんのすけくん【福祉施設環境設備・用品】 **価格：138,240円**

～正しい心臓マッサージのしかたを習得できます～

心臓マッサージを行う際に、重要とされる技術（圧迫位置、深さやリズムなど）を、わかりやすく計測・評価できる訓練機器として、2016年3月に発売された製品が「しんのすけくん」です。「しんのすけくん」を用いた訓練をすることにより、いざという時、人命救助に一步踏み出す勇気を与えてくれます。

ダブル技研(株) 「新心語り」【コミュニケーション・見守り機器】 **価格：456,000円〔非課税〕**

～正答率20%向上! 脳血流量を使った意思伝達装置です!～

心語りが性能アップして新発売!頭に巻いたセンサーにより、患者様の意思を受け取ることが可能となります。脳血流量をコントロールして「Yes」「No」を判定します。補装具費支給対象商品です。新心語りでは、「はい」「いいえ」がより伝わりやすくなりました。

(株)チェリー・BPM さくらんぼチャイム【コミュニケーション・見守り機器】 **価格：お問い合わせください**

～出かけたことを靴を履いてピンポンとお知らせ～

靴を履いて出かけると靴の中のタグと玄関の感知器が反応します。二階の居室やリビングに設置したチャイムがピンポンと出かけたことをお知らせします。

テクノグリーン販売(株) Cricket 軽量バギー【移動機器】 **価格：お問い合わせください**

～More Active! More Fun!～

R82社が長年開発に取り組んだ軽量かつコンパクトなバギー『Cricket』がついにリリースです。スタイリッシュなデザインと使い易さを追求した自信作。すぐに街に出かけたくなるほどのかっこよさ。『Cricket』をぜひお試しください。

テクノツール㈱ **iEAT【日常生活支援用品】**

価格：お問い合わせください

～自分のペースで食べる～

iEAT は脳性麻痺やパーキンソン病、多発性硬化症、また老化による上肢機能の低下や震えをカバーし、自分自身で食べることを可能にします。

㈱日本テレソフト **拡大読書器 DaVinci Pro【コミュニケーション・見守り機器】** 価格：お問い合わせください

～OCR機能が付いた高画質の拡大読書器～

画面に映し出した文字を認識(OCR)し、音声で読み上げる機能が付いた、今までにない拡大読書器です。カメラが340度回転するため、読書での使用はもちろん、手前に向けて鏡として使用したり、前方に向けて黒板を見たりすることも可能です。

㈱ノダ **アウトセット自動上吊り引戸【建築・住宅設備】**

価格：372,600円/セット

～住宅リフォームに最適！自動で開閉するアウトセットの引戸～

アウトセット仕様でリフォームに最適な自動引戸。2cm開けると自動で扉が開き、通過後には自動で閉まります。停電時は手動で開閉が可能。扉に近づくだけで自動開閉するセンサーや、ボタンを押すと開くプッシュスイッチをオプションでご用意しました。開閉音が静かなリニアエンジン方式。弊社ブースにて使いやすさを体験ください。

丸菱工業㈱ **スポットクッション【日常生活支援用品】**

価格：11,880円

～感覚ではなく正確な測定から生まれたクッション～

人が座った状態の臀部形状を、様々な年齢や体格の老若男女を対象に三次元形状測定法を用いて、背もたれ3角度(90、110、120)のパターンを測定し、不快除去・性別差や体格差をできるだけ緩和するため試作・測定検証を繰り返し、この座面が完成しました。イベント等で感応評価を行い、80%以上の人に良い評価をいただいたクッションです。

㈱ムーブ **SM-S230i-UB40 MOV【福祉施設環境設備・用品】**

価格：お問い合わせください

～訪問介護システム向けモバイルプリンター～

介護施設向け買い物支援システム「マルカイ」からの伝票出力はもちろん、タブレットを使った訪問介護システムとの連携にて業務効率の向上をサポートします。

訪問先で手書きすることなく、タブレット操作で素早く印刷する事が可能です。

㈱リフライ **障害者向けPC用データ入力システム「T4」【コミュニケーション・見守り機器】**

価格：お問い合わせください

～手指や視覚に障害のある方向けのPC用キーボード～

「T4」は大分大学工学部と共同研究で開発した、手指や視覚に障害のある方向けのPC用キーボードです。タブレット端末上にキーボードを表示し、ツータップ方式(特願2014-168693)にて入力します。セルフカスタマイズ機能やマウス機能を実装しており、作業の効率化と身体的負担の軽減を実現しています。

*上記の製品は、H.C.R.2016 福祉機器ガイドブックにお申込みいただいた新製品のなかから、掲載内容が確定したものを順次社名アイウエオ順で紹介したものです。特段の選考によるものではありません。

※注1：内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

※注2：各プログラムへの最新のご参加内容については、H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内します。

H.C.R. 2016 事務局

(一財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

<https://www.hcr.or.jp>